青少年相談センターだより

富士市青少年相談センター

静岡県富士市八代町１番１号　富士市教育プラザ内
電話＜０５４５＞５２－４１５２
FAX ＜０５４５＞５２－３７３７

令和３年度　第３号

「あなたのことが心配です。気になります。」

富士市青少年相談センター　赤池　好之

私は、本年４月に青少年相談センターに着任しました。今までの青少年との関わりはというと、10年余の公民館・まちづくりセンター、５年の少年自然の家の勤務の中でありました。

公民館職員の時代は、放課後に立ち寄ってくれる小学生との卓球勝負、講座では自身の理科好きをこじらせて、子供たちにも好きになってもらえるようにと、空気砲や湿度計、綿あめ製造機、静電気蓄電装置を作ったり、人が入れるしゃぼん玉を披露したりと、子供たちの驚いた顔や笑顔を想像しつつ企画し、「おもしろ実験」なるものを開催していました。

一転して、ここ、青少年相談センターは、非行防止活動や、学校に行きづらい子供たちの受け入れ、社会に馴染めないでいる若者の相談にのるなど、誰一人取り残さないための活動の拠点のひとつです。着任当時も、そして今も、うまくやっていけるのだろうかと本当に不安です。

釈迦に説法ではありますが、改めてセンターの主な活動を申し上げます。

『ステップスクール・ふじ』は、何かしらの困難を抱えているがために学校に通えず不登校になってしまった子供たちの学びの場です。相談員は子供たちに寄り添い、子供たちが自らの将来を自分で決めていけるよう一生懸命です。

青少年指導委員は、地区内巡回の他、富士まつり等の祭典会場の巡回を行っております。日誌を拝見すると、夜間の巡回中には、出会った子供たちに「気を付けて帰りなさい」などの声掛けも行い、子供たちが健全な成長から逸れないよう、安全に過ごせるよう、頑張っています。

学校サポート支援員も、学校との情報交換や校内巡視、その周辺での見守りや補導活動を行い、行き帰りの道中、子供たちを見守っています。

若者相談窓口『ココ☆カラ』のスタッフは、困難を抱える若者、生きづらさを感じている若者、そしてそのご家族の相談を受け、社会の一員となれるよう様々な支援を実施しています。毎月開催される家族会、フォローアップミーティングに参加してみると、仕事の大変さや愚痴などを報告しつつも若者の表情は明るく、多くの参加者がいろいろと質問し、ツッコミを入れ、和んだ時間が流れます。何よりも市民サポーターの広がりに驚きます。

これらの「根っこ」にあるのは、溢れる「あなたのことが心配です。気になります。」という思いなのだと思います。この気持ち、現代社会では多くの人が（特に家族でもない人に対して）なかなか持ち得ない、純粋なものだと感じています。

このような気持ちをお持ちで、この拙文をお読みの方は、ぜひ、周りの子供たちに声掛けを、できるなら、青少年指導委員に、あるいは若者サポーターになって活躍していただきたいと思います。

実は、私、シンガーソングライターのさだまさしさんが好きです。彼の歌に、私が特に好きな「主人公」という作品があります。

どの子供、どの若者、どの人にも、大きくなって、年をとって、この歌を自分の唄として歌えるようになって欲しい、後悔しない人生にして欲しいと（これもまた一方的に）思うのです。

あなたは一人ではない。必ず心配してくれる人がいる。そのような周りの人の力をぜひ借りて。

（歌の内容等、詳しいことは割愛します。興味をお持ちの方はぜひ、ご試聴ください。）

挨拶とタイミング

神戸班　渡辺　良秀

私は土地家屋調査士という仕事をしています。世間一般ではあまり馴染みのない職業だと思いますが、簡単に言うと、土地や建物を法務局に登記申請することが仕事です。

このように、土地に関する仕事ですから、測量が付き物です。外で測量をしているとどこで関係者（隣接地の所有者など）と接触するか分かりませんし、怪しまれないためにも、すれ違う人々に積極的に挨拶をするよう心掛けています。それこそ満面の笑みで・・・

午前の時間帯は、熟年層の方々が散歩をしているところを多く見掛けます。この年代の方々が中々難しく、挨拶を交わしてくれません。

この熟年層の先輩たちが、自分の人相のせいか会釈くらいで、挨拶を交わすことは本当に稀です。中には会釈すらせず、目も合わさない一心のオーラを放っている人もいます。

何故でしょう？私が知らない人だから？それとも何か考えごとでもしているのでしょうか？

対照的に素晴らしく、心晴れやかになるのは学校帰りの子供たち（特に小学生）です。

測量の器械は結構高額で、高級車とまではいきませんが、そこそこの車が買える位の値段はします。ですから、子供たちの下校が始まる時間帯は非常に神経を使います。子供たちの怪我は勿論ですが、三脚に触らないかと冷や冷やします。中には三脚の中を潜ろうとする強者もいます。

そんな子供たちですが、近寄ってくるときには決まって「こんにちは！何をしているの？」と声を掛けてくれます。このご時世ですから、特に子供たちには、私の方が不審者に思われないか、心配して接しています。

遠くから見ている女の子もいますが、近寄ってくる子は、百発百中で子供たちから挨拶をしてくれます。きっと彼らは好奇心が旺盛で興味を持った“ついでに”自然と挨拶をしてくれているのでしょう。この“ついで”の挨拶も受け取る側はうれしくなります。

この挨拶という日常の些細な出来事も、逆の立場に立つと感じ方が違うものだと思うことがありました。

我が家では犬を飼っています。朝晩に近所の公園へ散歩に行きますが、我が家の愛犬は、見知らぬ人に吠えてしまう悪い癖があります。飼い主として吠えないよう気を付けていますが、そんな時に限って、「こんにちは、かわいいわね。」と挨拶をしてくれる方がいます。そんな時は、（今は話しかけないで）と、今度は私が思ってしまいます。

時間や場所、その時の場面、相手の気持ちなどで感じ方が違うこともあるものだと思いました。しかし、今後も屋外での仕事中は出会う人に積極的に挨拶を交わしていきたいと思います。

子供たちが危ない　～チャレンジ精神の欠如～

青少年相談員　磯野　和彦

私たちは困難に遭遇したり不便さを感じたりすると、その状況を克服するために、知恵を絞り仲間と協力して何らかの行動を起こします。そして困難や不便な状況を改善する過程で得た、様々な知識や経験は、まさに身をもって得た、「本物の力」となって血肉になっていきます。更に、そのことは自分の自信となり、新たな課題に立ち向かう意欲に繋がってきました。困難や不便は、子供たちにとって「生きる力」を身に付けるための、重要な要素ではないのかと思うのです。

おそらく今の子供たちは、これまでに類を見ないほど便利で豊かな環境の中で暮らしています。お腹が空けば、２４時間営業しているコンビニやスーパーがあり、興味を持ったことや分からないことがあれば、パソコンやスマートフォンで検索すれば情報を瞬時に手に入れることができます。複雑な計算は言うに及ばず、外国語(英語・中国語・スペイン語…)も機械が的確に判断して翻訳してくれる。このような便利な世の中で生活している子供たちは、差し迫って「困った！」「不便だ！」と、感じることは少ないのではないでしょうか。

また、私たち大人は、「辛い思いをさせたらかわいそう…。」「そこまで厳しくやらなくても…。」「怪我をさせないように安全第一で…。」などと、子供たちを「困難」「不便」「危機」などから遠ざけてしまっています。実は私自身、「優しい“じいじ”」と思ってもらうために、孫には相当甘くなっています。一見すると、子供たちにとって親切で物分かりが良く優しいように思われますが、実は子供たちは、切迫した困難を感じることもなく、何かを克服するために、挑戦したり行動を起こしたりする必要もあまり感じなくなってしまったり、「困難」「不便」「危機」を感じることがあっても、誰かが何らかの方法で問題を解決してくれるだろうと、人に頼ってしまっていたりしているのではないでしょうか。それはまさに、「チャレンジ精神」が不要になってしまっているのではないかと考えます。

そして現在、先の見えないコロナの感染拡大は子供たちに大きな影響を与えています。学校現場では安全安心な生活を守るために三密にならない環境づくりを最優先にしています。そのため、行事(旅行的行事・運動会・音楽発表会等)が中止や延期になったり、授業中のグループ学習を無くしたり、部活動を中止したりしています。子供たちにとって学校生活での「成功体験」や「失敗体験」は何事にも代えがたい貴重な経験になります。また、一つの課題をグループの中で練りあうことは全体の意欲向上や学力向上に繋がります。行事等で責任ある役割を与えられた子供は、何とか責任を果たそうと努力し、やり遂げたときは大きな満足感や感動を味わうことができます。一つの目標に向かって仲間と本気になって取り組む活動は一生の思い出になります。そんな貴重な経験が無くなりつつあるのです。

私自身、学校現場を離れた今、「事なかれ主義」「転ばぬ先の杖」といった考え方が強かったと猛反省しています。大学教授や教育学者のように、「〇〇〇〇といった手立てを打ちなさい」とは言えませんが、私たちの出来ることは、おそらく上手くいかないぞと分かっていても我慢して見守り、実際に失敗したときは、何が原因でどうすれば良かったのか、次にどう生かすかを考えさせるように支援していく。また、本当に興味を抱き、やりたいと思ったことがあれば少々の苦労や冒険も厭わずチャレンジさせてみる。一人一人に仕事や責任を割り振り最後まで頑張らせてみる。そんなことが大事だと思います。

子供たちには、将来に『夢や希望』を持ち、それを現実にするために日々、チャレンジする子供に育ってほしいと願います。

☆☆☆ 電話相談集計 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

「ほっとテレフォン・ふじ」受信状況（８月～10 月）

1　総受信件数(令和３年８月から 10 月まで)
　受信件数（３３件）　　業務日数（６２日）

2　曜日別受信状況

	月	火	水	木	金	計
件　数	2	9	8	6	8	３３
日　数	１１	１３	１３	１２	１３	６２

3　時間帯別受信状況

時間帯	9 時	10 時	11 時	12 時	13 時	14 時	15 時	16 時	時間外	計
件　数	4	6	4	1	7	5	6	0	0	３３

4　通話時間別受信状況

時　間	10 分以内	10～20 分	20～30 分	30 分以上	計
件　数	２８	4	1	0	３３

5　学校，その他・男女別受信状況

	小学	中学	高校	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計	不明(無言)
男	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	5	１０
女	1	0	0	0	0	0	１０	0	2	5	１８	
計	1	0	1	0	0	0	１０	0	2	9	３３	

6　学校，その他・内容別受信状況

	小学	中学	高校	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計
Ａ学校生活	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
Ｂ対人関係	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
Ｃ進路適性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ｄ非社会的	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
Ｅ心身発達	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
Ｆ反社会的	0	0	0	0	0	0	0	0	1	１０	１１
Ｇそ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
計	1	0	1	0	0	0	１０	0	2	１９	３３

7　メール相談（時間帯別受信状況）

時間帯	0～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	合計
件数	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0

令和３年度 青少年指導委員による補導状況（８月～10 月）

行為・区分 ＼ 学識別			学生・生徒					有職少年 無職少年	合計
			小学生	中学生	高校生	その他の学生	小計		
行為種別	飲酒								
行為種別	喫煙								
行為種別	深夜徘徊								
行為種別	不良交友								
行為種別	怠学・怠業								
行為種別	シンナー等薬物乱用								
行為種別	不健全娯楽	ゲームセンター入場							
行為種別	不健全娯楽	パチンコ店入場							
行為種別	不健全娯楽	その他風俗営業入場							
行為種別	暴走行為								
行為種別	自転車二人乗り・無灯火					2			2
行為種別	危険な遊び								
行為種別	その他	帰宅			11 (3)				11 (3)
行為種別	その他	マナー							
行為種別	その他	その他			4				4
合計					15 (3)	2			17 (3)
措置区分	声掛け（注意・指導）				15 (3)	2			17 (3)
措置区分	家庭･学校･職員等連絡								
措置区分	警察・派出所等連絡								
措置区分	他機関への連絡・通告								

※( )は女子で内数
※９月は緊急事態宣言下であったため、富士市青少年指導委員会の各班は補導活動を休止した。

街頭補導日誌（要約）　令和３年８月～10 月

元吉原班	８月12日(木)	まん延防止等重点措置の期間中だったため、まちセン屋外で打合せ、その後各自で周辺の見回りを行い、班長に報告するよう伝えた。 東田子の浦駅駐輪場の半数の蛍光灯が消え、LED 化改修中とのこと。
浮島班	10月21日(木)	浮島まちづくりセンターに集合。情報交換後、ファミリーマートを巡回した。特に異常はなかった。 東小学校も特に変わったことはなかった。
須津班	10月21日(木)	新型コロナ緊急事態宣言が解除、多少夜の人通りがあり、ウォーキングする人たちと挨拶。公園内や駅周辺を見回る。特に問題はないが、マスクを拾うことが多い。収集日前のゴミ出しか、集積場所が散乱。
吉永第一班	８月５日(木)	まちセンロビーにてミーティング後東回りで巡回。吉永一小体育館ではバレーの練習の声。体育館外にはサッカー練習帰りの親子、挨拶を交わす。諏訪神社はきれいで、医王寺も橋が修繕されきれいだった。
吉永北班	10月26日(火)	小、中学校との情報交換を行った。 その後、地区内を青パトにて巡回したが、問題はなかった。
原田班	10月14日(木)	まちセンに集合、久しぶりの通常補導。検温を行い、皆問題なく情報交換、その後、青パトにて地区内全域の巡回パトロール。犬の散歩をする人を見かけるも高校生には会わず。緊急事態明け、未だ静か。
富士見台班	10月28日(木)	巡回前に吉原北中教頭先生と情報交換、特に問題はないが、不登校の生徒が多いとのこと。公園、コンビニ、マックスバリューのイートインコーナーを巡回、子どもたちの姿はなく問題はなかった。
神戸班	８月６日(金)	本日は、ｳｫｰｷﾝｸﾞ、犬の散歩の人々数組に会った。新東名側道行き止まりの場所の車両に、同行した駐在が声掛けをしてくれた。風俗業の運転手で時間待ちとのこと。そんな車両ばかりではないと思うが。
青葉台班	10月28日(木9	情報交換後、新東名ﾄﾝﾈﾙ、公園、広場、コンビニを巡回。コンビニ駐車場奥にいた高校生２人に早く帰るよう声掛け。ふれあい広場では暗い中一人の大人がベンチでスマホ操作。巡回した場所は問題なし。
今泉班	８月10日(火)	今泉地区全体を青パトにてパトロール。まちセンから十王子神社、吉原二中北側、マックスバリュー今泉店、ツタヤ、ブックオフを通り、依田橋町国道一号バイパス高架下、西友ストアを巡視、学生の姿なし。
吉原班	10月28日(木)	まちセンにて、一中・吉小と情報交換、その後東回りにて巡回 一中／暴力･暴行案件なし、ｲﾝﾀｰﾈｯﾄﾄﾗﾌﾞﾙあり、不登校･復帰生徒あり。 吉小／ﾈｯﾄｹﾞｰﾑの言葉を発する児童あり。担任･教頭と相談している。
伝法班	10月14日(木)	東名インター付近の見回りを実施。誰にも会うことがなかった。 交番に立ち寄ったが誰もいなかった。
広見班	８月12日(木)	措置会議資料の報告を行った。駐在からは特段の報告なし。各自帰宅の方向でのパトロールとして解散。26 日予定の通常補導は緊急事態宣言下で休止。広見小教頭から参加の連絡あり、解除後の参加を依頼。
大淵班	10月20日(水)	交番にて情報交換、特に話題なし。熱海の土砂災害に関連して大淵地区に不法投棄場所が数件あるようで行政指導に従わない業者が多く当局も苦慮している様子、早急な解決が望まれる。巡回は問題なし。
丘班	10月６日(水)	丘まちセンで情報交換をした。 岳陽中周辺に変質者が出没するとのこと。 丘小学校は特に問題はないそうだ。
鷹岡班	10月21日(木)	鷹岡まちセンから、富士西公園、鷹岡プラザ、水道山公園、ＳＬ入山瀬公園を巡回。富士西公園では、男子高校生２人がスマホでゲームをしながら会話していたので、帰るよう声掛け。その他は異常なし。
天間班	10月14日(木)	情報交換後、ファミリーマート、ローソン、セブンイレブン３店舗、天間小、天間保育園、富士西公園、天間児童遊園、天満宮境内を巡回、青パトは地区全体を巡回。問題はなかった。
岩松班	10月28日(木)	岩松中･岩松小と情報交換、落ち着いているが岩松小の一部生徒はまちセンの工事(新築･解体)音に参っているとのこと。近くの歯医者のﾌﾞﾛｯｸ塀(崩落)と伸び放題の樹木が怖いとのことで巡回を実施。

岩松北班	８月４日(水)	情報交換後、車２台にて北方面（岩本山公園、湯沢平団地等）と南方面（実相寺、四ッ家公園等）に分かれ、地区全体を巡回。 夏休み中であったが、子どもに会うこともなく、特に問題はなかった。
富士第一班	10月21日(木)	富士中と富士第一小の先生が情報交換のため集合してくれた。学校からは特別な問題になる情報などはなかった。緊急事態宣言も解除され落ち着いている様子だが、商店街、駅周辺の人の往来は少なかった。
富士北班	８月19日(木)	富士第一班と共に、富士駅北まちセン、平垣公園、ﾎﾘﾃﾞｲｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ、富士駅、富士本町周辺を巡回。明日（８月 20 日）から緊急事態宣言ということで、町はいつも以上に閑散、既に閉まっている店も多かった。
富士駅南班	10月８日(金)	富士駅南第２公園は街灯も点き、草刈りもされていた。また、公会堂の周囲、裏の社は整備されており、暗がりが少なくなっていた。 巡回中無灯火の自転車２台に遭遇、注意をした。
富士南班	10月14日(木)	まちセンに集合、徒歩にて小・中学、子どもクラブ、幼稚園周辺、神社、コンビニ等を巡回したが、特に問題はなかった。
田子浦班	10月14日(木)	措置会議、小･中学校との情報交換の報告を行った。子供達も落ち着き徐々に日常に戻りつつある。中学校では蒼波祭(運動･文化)を開催する。目標ができて活き活きしてきた。先生方の対応で不登校増加なし。
松野班	10月22日(金)	久々に南松野公園周辺を巡回。公園付近にヘルメット、傘、上履きなどの児童の所持品と思われるものがそのまま置かれていることに違和感。保護者は気付いたり探したりしないのか。毎回の発見と多さに驚く。
女性第一班	10月23日(土)	原田公園周辺を初めて回る。大勢の親子連れで賑わっていた。小学生だけのｸﾞﾙｰﾌﾟも数組あり、「こんにちは」と挨拶を交わす。 知人親子に声を掛けられたので、青少年指導委員の説明をする。
女性第二班	10月23日(土)	ﾄﾞﾝｷﾎｰﾃ富士中央店から、途中の店舗駐車場やその周辺を見ながら南下、米之宮神社、米之宮公園へ。軽運動ができる遊歩道は木部に腐食部分があり、トゲが刺さる心配がある。ｴｽﾎﾟｯﾄ･ﾄﾞﾝｷ店内巡回は問題なし。
女性第三班	８月７日(土)	港公園の巡回を行った。駐車場は沢山の車、広場ではコロナ禍で出掛けられないためか、子供達がボード、自転車、ボール等で楽しく遊んでいた。ギアナ号展示場は閉鎖。巡回場所も制限され、早く収束願いたい。
女性第四班	10月９日(土)	富士川楽座と周辺を巡回。緊急事態宣言も解除、富士川楽座は買い物客が多かった。土産物店等では家族連れが楽しんでいた。楽座周辺の道では人と会わず、川沿いと背の高い草のため、子供は人目につかない。
学校サポート	８月の日誌より	期間中、無人の学校に進入し、テニスコートでボール遊びをしていた高校生３人を補導、口頭厳重注意をした他、潤井川等の河川で遊泳等をしていた中高生（３件 37 人）に対し声掛け・注意喚起を行った。

※９月は緊急事態宣言下であったため、富士市青少年指導委員会の各班は補導活動を休止した。

12月～２月の行事予定

※新型コロナウィルス感染拡大や気象(荒天)、災害の状況等により、変更（中止や延期等）となることがあります。

12月	３(金) 臨床心理士来所相談	1月	４(火) 仕事始め	2月	１(火) 補導措置会議
	６(月) 補導措置会議		６(木) ステップスクール・ふじ　開始		４(金) 富士市青少年相談センター運営協議会
	10(金) 体験学習（クリスマス飾りづくり）		７(金) 補導措置会議		７(月)～９(水) 毘沙門天大祭祭典補導
	11(土) 家族会		８(土) 若者サポーター養成講座		８(火) 臨床心理士来所相談
	フォローアップミーティング		家族会		10(木) 不登校研修会
	14(火) 臨床心理士来所相談		フォローアップミーティング		12(土) 合同相談会
	17(金) 青少年対策連絡会		11(火) 不登校対策連絡会		15(火) 臨床心理士来所相談
	県内一斉冬季少年補導		18(火) 臨床心理士来所相談		16(水) 体験学習（スプリングコンサート）
	21(火) 臨床心理士来所相談		21(金) 青少年対策連絡会		18(金) 青少年対策連絡会
	24(金) ステップスクール・ふじ　終了		臨床心理士来所相談		22(火) 体験学習（富士山学習）
	28(火) 仕事納め		25(火) 体験学習（陶芸教室）		
			28(金) 保護者教室		

～青少年相談センターはこんな仕事をしています～

１　相談事業

面接相談

○ 学校生活や進路に関すること
○ 不登校に関すること
○ いじめや友人関係に関すること
○ 養育や生活態度・性格に関すること
○ 非行や性の悩みに関すること
○ その他青少年に関すること

【受付時間】９：００～１６：３０
（土日祝・年末年始を除く）

事前に相談センターに申し込んでください。

電話相談

学校生活や友人関係、進路、非行や不登校等、青少年に関する電話相談やメール相談

「ほっとテレフォン・ふじ」
９：００～１６：００（土日祝・年末年始を除く）
電話　0545(51)3741　またはメールで
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

「ステップスクール・ふじ」

不登校児童生徒に時間と場所を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指します。

【利用時間】８：００～１８：００

○ 自律性と社会性を育てるために
・創作活動　　・自主学習　　など
○ 人間性を育てるために
・ゲーム　・スポーツ　・調理実習など

臨床心理士来所相談

月２～３回臨床心理士の先生に、子育てや発達についての悩みを相談することができます。

予約制ですので、日程及び申し込みについては、青少年相談センターまでお問合せください。

保護者教室

お子さんが学校に行くことができずにいる保護者さんが集まって、悩みや不安を共有したり、情報交換をしたりする会です。不登校の家族の会の方の経験談も聞くことができます。

日程につきましては、青少年相談センターまでお問合せください。

２　青少年非行防止事業

○ 青少年指導委員会
○ 青少年健全育成活動
○ 環境浄化活動

３　子ども・若者育成支援事業

富士市若者相談窓口「ココ☆カラ」

概ね中学校卒業から３９歳までの、ニート、ひきこもり、不登校など社会生活に困難を抱える若者とそのご家族の支援を行っています。

【受付時間】９：００～１７：００（火～土曜日）
（祝日・年末年始を除く）

住所　富士市八代町１番１号
　　富士市教育プラザ内
電話　0545(55)0562
e-mail : f-wakamono@chive.ocn.ne.jp

富士市青少年相談センター

住所　富士市八代町１番１号
　　富士市教育プラザ内
電話　0545(52)4152
FAX　0545(52)3737
e-mail : ky-soudan@div.city.fuji.shizuoka.jp

●富士警察署北側
●岳南電車ジャトコ前駅より徒歩２分